



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場取引所 東名札

上場会社名 株式会社スズケン

コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理部長 (氏名) 野原 正伸

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	527,631	△1.0	2,104	670.4	4,689	64.9	3,099	188.5
29年3月期第1四半期	532,863	4.6	273	△90.2	2,844	△45.4	1,074	△65.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 5,791百万円 (193.2%) 29年3月期第1四半期 1,975百万円 (△51.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	32.38	—
29年3月期第1四半期	10.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,119,098	392,781	35.0
29年3月期	1,109,012	396,496	35.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 392,198百万円 29年3月期 395,944百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,031,000	△2.3	4,100	△36.4	8,300	△24.4	5,500	△15.8	56.92
通期	2,100,000	△1.3	10,300	△45.0	19,000	△31.6	12,100	△43.2	125.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	103,344,083 株	29年3月期	103,344,083 株
30年3月期1Q	8,653,563 株	29年3月期	6,721,683 株
30年3月期1Q	95,709,528 株	29年3月期1Q	99,134,759 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社グループは、新たな3ヵ年の中期成長戦略「One Suzuken 2019」を策定し、本年度よりスタートいたしました。今後、中期ビジョンで掲げたNumber One「顧客信頼度最大化への挑戦」、Only One「唯一無二のビジネスモデル」、One Group「共通の基盤、共通の価値観」、One Point Improvement「生産性向上による販管費率の改善」の4つの「One」の実現に向けて、お得意さまのニーズを徹底的に追求し、さまざまな企業との協業による新たな価値を創造し、また、グループ一体での生産性を上げることにより、更なる企業価値向上を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,276億31百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は21億4百万円（前年同期比670.4%増）、経常利益は46億89百万円（前年同期比64.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億99百万円（前年同期比188.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成29年3月期 第1四半期累計期間	平成30年3月期 第1四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	510,361	504,826	△1.1
	営業利益 又は 営業損失 (△)	△1,192	162	—
医薬品製造事業	売上高	16,535	15,087	△8.8
	営業利益	1,612	1,234	△23.4
保険薬局事業	売上高	23,928	24,549	2.6
	営業利益 又は 営業損失 (△)	△103	537	—
医療関連サービス等事業	売上高	10,566	12,279	16.2
	営業利益	88	230	161.0

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、抗悪性腫瘍剤市場の拡大があったものの、後発医薬品使用促進およびC型肝炎治療剤市場の縮小の影響により、マイナス成長であったものと推測しております。

そのようななか、売上高は、主にC型肝炎治療剤の販売減少により減収となりました。営業利益は、流通改善の取組みとして、個々の医療用医薬品の価値に見合った価格交渉を徹底し、適正利益の確保に注力するとともに販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより増益となりました。

顧客信頼度最大化への挑戦については、お得意さまからの信頼を最大限に得ることを目指し、引続き、顧客信頼度ナンバーワン戦略を実践してまいります。

また、卸物流を担う「西神物流センター」が平成29年4月より稼働いたしました。同じ建物内にメーカー物流を担う「六甲物流センター」と輸配送ターミナルを併設しており、業界初となる併設型複合センターとしてグループ機能を一気通貫した高品質な物流サービスを効率良く提供するとともに、災害時においても医薬品を安定的に供給するという社会的使命を果たしてまいります。

これらの結果、売上高は5,048億26百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は1億62百万円（前年同期は11億92百万円の営業損失）となりました。

なお、現時点における販売価格の未決定先は全体の4割強であり、その先については、合理的見積価格としております。今後、価格決定に向けての厳しい価格交渉が予想されますが、引続き適正利益の確保に向けた活動を徹底してまいります。

(医薬品製造事業)

売上高は、糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」やDPP-4阻害剤「スイニー錠」、高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」など糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたものの、ニュートリション事業譲渡の影響などにより減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、減収の影響により減益となりました。

これらの結果、売上高は150億87百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は12億34百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aおよび新規出店や、薬局のかかりつけ機能強化の取組みによる技術料収入の増加などにより、増収となりました。

営業利益は、増収の影響および販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより増益となりました。

これらの結果、売上高は245億49百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は5億37百万円（前年同期は1億3百万円の営業損失）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業（医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託）の受託が増加したことや、介護事業において利用者が増加したことにより増収となりました。

営業利益は、メーカー支援サービス事業および介護事業における増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は122億79百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は2億30百万円（前年同期比161.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ100億85百万円増加し1兆1,190億98百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ102億58百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が23億10百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が75億50百万円、商品及び製品が51億74百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1億72百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が13億77百万円増加したものの、有形固定資産が8億40百万円、無形固定資産が7億9百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ138億円増加し7,263億17百万円となりました。これは主に、未払法人税等が53億51百万円、賞与引当金が38億51百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が192億73百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ37億14百万円減少し3,927億81百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が27億18百万円増加したものの、自己株式の取得により68億96百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	108,276	105,966
受取手形及び売掛金	497,929	505,480
有価証券	32,162	35,666
商品及び製品	141,373	146,548
仕掛品	3,387	3,230
原材料及び貯蔵品	4,281	2,982
その他	36,886	34,226
貸倒引当金	△2,545	△2,089
流動資産合計	821,753	832,011
固定資産		
有形固定資産	121,809	120,969
無形固定資産		
のれん	1,898	1,731
その他	15,573	15,030
無形固定資産合計	17,471	16,762
投資その他の資産		
投資有価証券	119,410	120,558
その他	29,106	29,332
貸倒引当金	△538	△536
投資その他の資産合計	147,977	149,354
固定資産合計	287,259	287,086
資産合計	1,109,012	1,119,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652,655	671,929
短期借入金	89	69
未払法人税等	6,479	1,127
返品調整引当金	543	484
賞与引当金	8,072	4,220
その他	11,985	14,631
流動負債合計	679,825	692,463
固定負債		
長期借入金	15	13
役員退職慰労引当金	542	526
退職給付に係る負債	3,270	3,292
その他	28,862	30,021
固定負債合計	32,691	33,853
負債合計	712,516	726,317
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	39,069	39,069
利益剰余金	326,935	327,425
自己株式	△20,158	△27,055
株主資本合計	359,392	352,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,043	44,761
土地再評価差額金	△5,771	△5,771
為替換算調整勘定	216	118
退職給付に係る調整累計額	63	103
その他の包括利益累計額合計	36,551	39,212
非支配株主持分	552	582
純資産合計	396,496	392,781
負債純資産合計	1,109,012	1,119,098



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	532,863	527,631
売上原価	489,550	483,556
売上総利益	43,312	44,074
返品調整引当金戻入額	626	543
返品調整引当金繰入額	475	484
差引売上総利益	43,463	44,133
販売費及び一般管理費	43,190	42,029
営業利益	273	2,104
営業外収益		
受取利息	145	102
受取配当金	651	665
受入情報収入	1,387	1,377
その他	511	541
営業外収益合計	2,695	2,686
営業外費用		
支払利息	10	14
不動産賃貸費用	47	55
その他	65	30
営業外費用合計	124	101
経常利益	2,844	4,689
特別利益		
固定資産売却益	20	9
投資有価証券売却益	41	5
その他	0	—
特別利益合計	62	14
特別損失		
固定資産除売却損	50	26
減損損失	127	—
災害による損失	373	—
その他	42	2
特別損失合計	593	28
税金等調整前四半期純利益	2,313	4,675
法人税等	1,224	1,544
四半期純利益	1,088	3,130
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,074	3,099

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,088	3,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,095	2,718
為替換算調整勘定	△18	△3
退職給付に係る調整額	△19	40
持分法適用会社に対する持分相当額	△170	△93
その他の包括利益合計	887	2,660
四半期包括利益	1,975	5,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,961	5,760
非支配株主に係る四半期包括利益	13	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月11日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月16日付で自己株式1,931,800株（取得価額6,896百万円）の取得を行いました。

これを主な要因として、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が6,896百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が27,055百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	497,466	5,126	23,924	6,346	532,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,895	11,409	4	4,219	28,528
計	510,361	16,535	23,928	10,566	561,391
セグメント利益又は損失(△)	△1,192	1,612	△103	88	404

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	404
セグメント間取引消去	△131
四半期連結損益計算書の営業利益	273

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	491,491	4,617	24,545	6,976	527,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,335	10,469	4	5,303	29,112
計	504,826	15,087	24,549	12,279	556,743
セグメント利益	162	1,234	537	230	2,164

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,164
セグメント間取引消去	△60
四半期連結損益計算書の営業利益	2,104

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。